恥

猶失意如醉、

〔日本書紀九神功〕九年〇仲哀十月辛丑、從和珥津發之、〇中略新羅王遙望以爲、非常之兵、將滅己國、讋焉失志、

〔日本書紀十五仁賢〕六年壬子、遣日鷹吉士、使高麗召巧手者、〇中略於是麁寸從日鷹吉士發向高麗、由是其妻飽田女、徘徊顧戀失緒傷心、哭聲尤切、令人斷腸、

〔日本書紀十六武烈〕十一年、〇仁賢是時影媛逐行戮處、〇戮平群鮪於乃樂山見是戮已、驚惶失所、悲涙盈目、〇下略

〔萬葉集六雜歌〕天平十年戊寅、石上乙麿卿配土左國之時歌三首幷短歌、

石上、振乃尊者、弱女乃、惑爾緣而、馬自物、繩取附、〇下略

〔續日本紀十三聖武〕天平十一年三月庚申、石上朝臣乙麻呂坐奸久米連若賣、配流土左國、〇下略

〔伊勢物語上〕むかし男うゐかうふりして、ならの京かすがの里に、しるよしして、かりにいにけり、その里にいとなまめいたる女、はらからすみけり、此男かいまみてげり、おもほへず、ふる里にいとはしたなく有ければ、心ちまどひにけり、

〔古今和歌集十九誹諧〕題しらず　きのありとも

あひみまくほしはかずなく有ながら人に月なみまどひこそすれ

〔類聚名義抄二耳〕聰或愧字、ハツ、　聏屋注反、ハツ、　恥〇〇ハチ、ハツ、　恥正　耻古　〔同二女〕媿或愧字、ハチ、　〔同五言〕諰或愧字、ハツ、

〔同六心〕怍才作反、ハツ　惡於各反、ハチ、　憶音億、ハツ、　惚女六反、又女手反、ハツ、　懷懷音槐、上通下正、ハチ、　懵莫崩反、悶、ハツ、　悚音聳、ハチ、

懽俗籠字、ハツ、　慙辞甘反、ハツ、　慚ハツ　愧他典反、ハツ、　愧踦饋反、媿並正　ハツ　懺ハチ　恥癡陞反、ハツ、　〔同七寸〕辱音蓐、〇〇〇〇ハツカシム

〔伊呂波字類抄波人事〕耻ハチ、ハツ、　辱　諮音姿、諮謀也、　慙　羞　愧　媿　靦　盡故爰胡郡二反　怍　顋　忝

劵　悔　愜　詬　惡　慘　愧　聏　聰　圂　涸　謠　詢　諰　僞　醜　囚　怩　懺　差